

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

改訂 ●上枠の取付を変更しました。

お願い

- 商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
- 商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。
- 商品の組立・取付の際は、所定のねじを使用して最後まで締付けてください。締付け不良は事故の原因になります。
- 取付開口部の水平・垂直・対角寸法およびねじの無いことを確認してください。取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮させることができません。
- 施工完了後、説明書の調整方法通り、調整が行われていることを確認してください。調整不良は操作不良や異常音の原因になります。
- 取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックを施主様に渡すようお手配ください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

本説明書は網戸本体の組立・施工説明書です。ドアクローザーやランマ付ドアの場合は、専用の補助枠（別売品）が必要となりますので補助枠を取付けた後、本説明書に従い正しく取付けてください。

同梱一覧

| 番号 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ |
|-----|------|--------------|----|------|-------|--------|--|------------------|------------------|
| 姿図 | | | | | | | | | |
| 品名 | 網戸本体 | アタッチメント | 上枠 | 下レール | インナー枠 | 上枠キャップ | 上部フック | なべタッピンねじ (φ4×16) | なべタッピンねじ (φ4×20) |
| 個数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 300≦網戸W≦1500-5 1500<網戸W≦2000-7 余る場合があります | 8 | 3 |
| 備考 | - | 本体にセットされています | - | - | - | - | - | 上枠・アタッチメント取付用 | 受枠取付用 |
| ねじ袋 | - | - | - | - | - | 同梱部品袋 | 同梱部品袋 | 同梱部品袋 | 同梱部品袋 |

同梱ねじはサイズにより余る場合があります。

枠取付精度

枠取付精度が下記寸法以下になっているか確認し調整してください。下記寸法を超えるとき間がでたり、開閉に支障がでたりします。

●枠のソリ(フクレ) ●枠のソリ(ツツミ) ●枠の対角差 単位: mm

●上下枠の内ソリ ●上下枠の外ソリ ●枠のネジレ ●枠の室外ソリ ●枠の室内ソリ

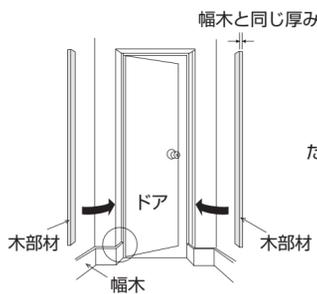
施工の前に

[開口部の納まり・段差について]

下レールの取付け面が平ら(フラット)であることを確認してください。網戸取付面に段差がある場合は、同じ厚みの木材材で段差をなくすか、幅木をカットしてください。

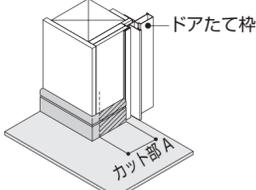
●木材材などで段差をなくす場合

幅木の厚みが20mmを超える場合は、こちらで対応してください。



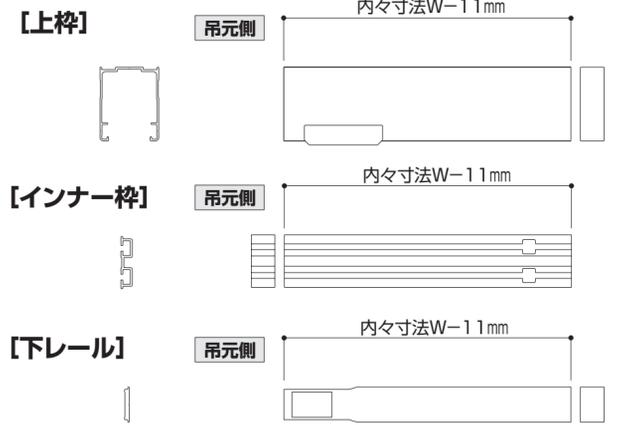
●幅木をカットする場合

網戸と幅木が干渉しないようあらかじめ幅木をカットしてください。



幅木カット寸法:
A=34mm (収納枠側網戸取付寸法)+α (逃げ寸法)
幅木カット寸法:
A=24.5mm (受枠側網戸取付寸法)+α (逃げ寸法)

部材の切詰めが必要な場合

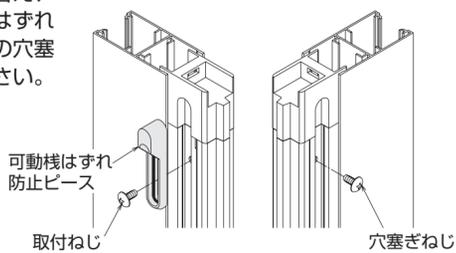


吊元の変更

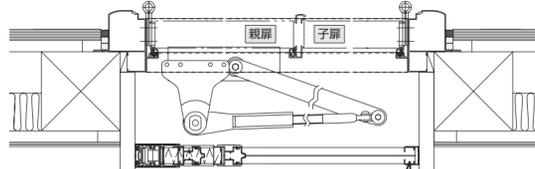
本体は、R・L兼用です。出荷時は内観左が吊元の状態です。網戸の施工の前に、ドアの勝手にあわせて吊元交換の作業が必要です。

可動棧はすれ止めピースの付け替え、可動棧上部についている可動棧はすれ防止ピースの取付ねじ・反対側の穴塞ぎねじをはずして交換してください。

| ドア種類 | 吊元(外観) | つけ替え作業 |
|-------|--------|--------|
| 片開きドア | R | 不要 |
| | L | 必要 |
| 親子ドア | R | 必要 |
| | L | 不要 |

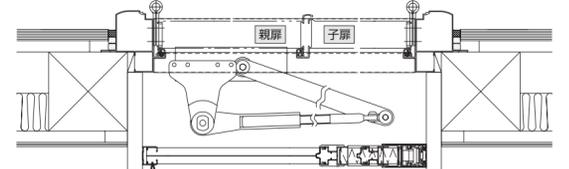


網戸を使用中外側から入る時不便です。



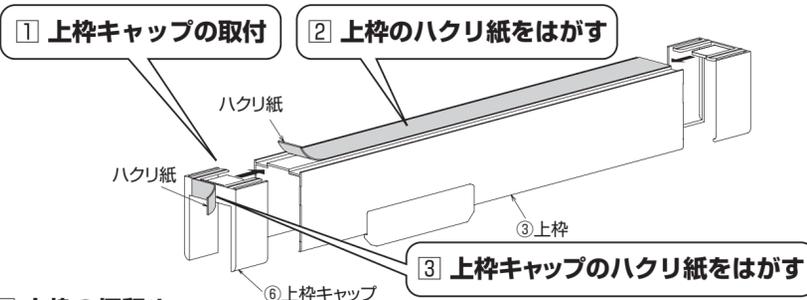
網戸を使用した場合、可動棧が子扉側に来てしまい外側から入る時に可動棧をつかめない!

吊元を子扉側にして取付けてください。



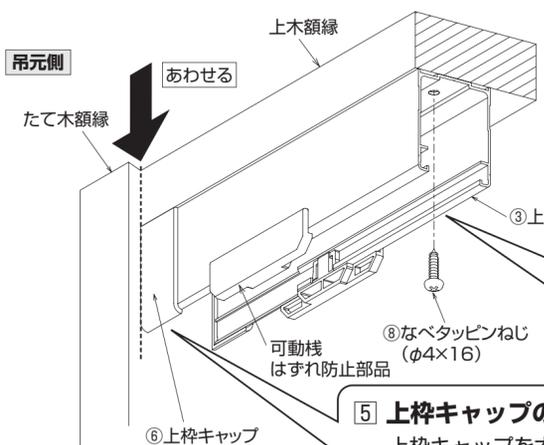
可動棧が親扉側に来ると使い勝手が良くなります。

1. 上枠・インナー枠の取付



④ 上枠の仮留め

上木額縁の内面と上枠両端の上部キャップの内面をあわせ、左右のチリを均等にして両面テープで仮留めしてください。



ポイント

- 可動棧はすれ防止部品が吊元側にくるようにしてください。
- 上枠仮固定時、ドアを開閉してもドアクローザーなどが上枠に干渉しないことを確認してください。

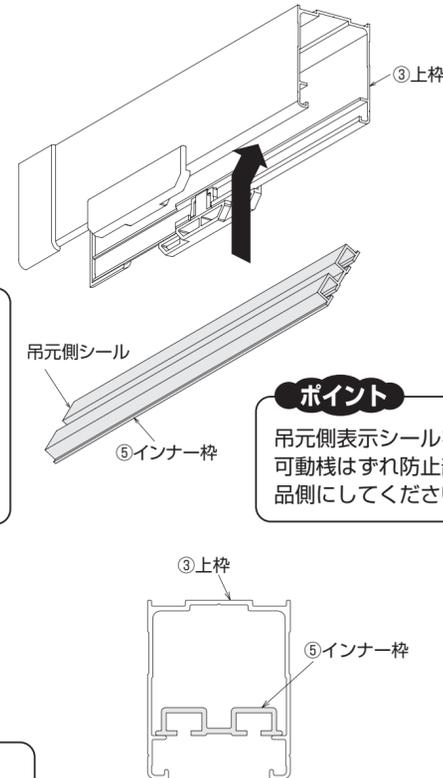
⑥ 上枠の固定

上枠をねじで固定してください。

⑤ 上枠キャップの固定

上枠キャップを上木額縁にあたる所まで広げ、両面テープをしっかりと貼付けてください。(左右とも)

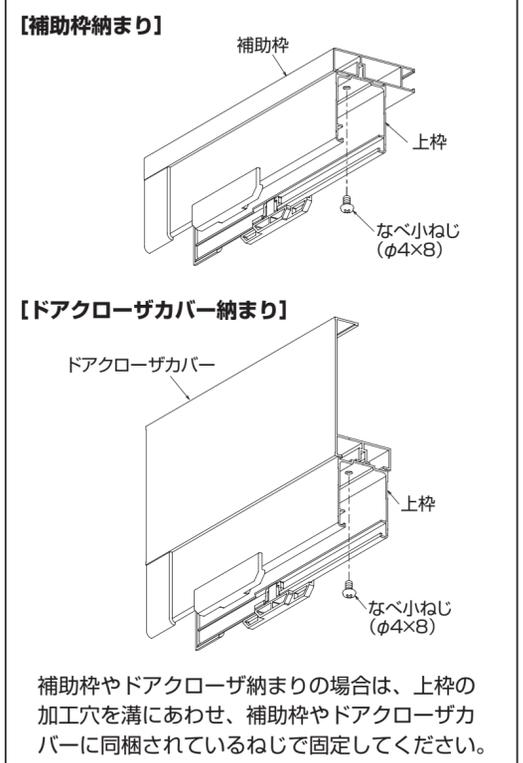
⑦ インナー枠の取付



ポイント

吊元側表示シールを可動棧はすれ防止部品側にしてください。

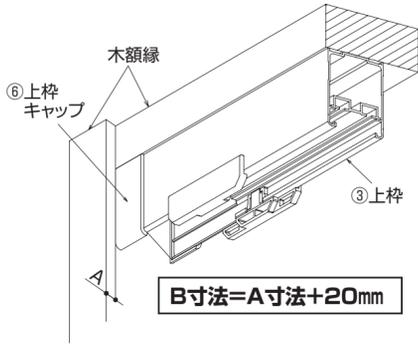
補助枠・ドアクローザカバー納まりの場合(別売品)



2. 下レールの取付

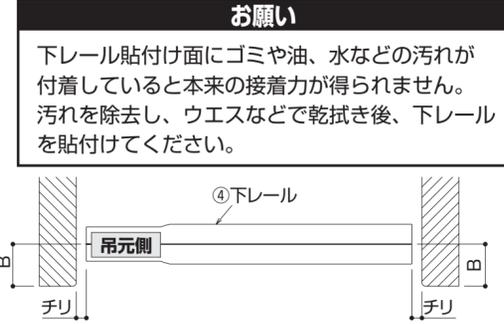
① 下レールの取付位置の算出

下レールは上枠の納まり位置によって、奥行の位置が変わります。下記によりB寸法を算出してください。



② 下レールの取付

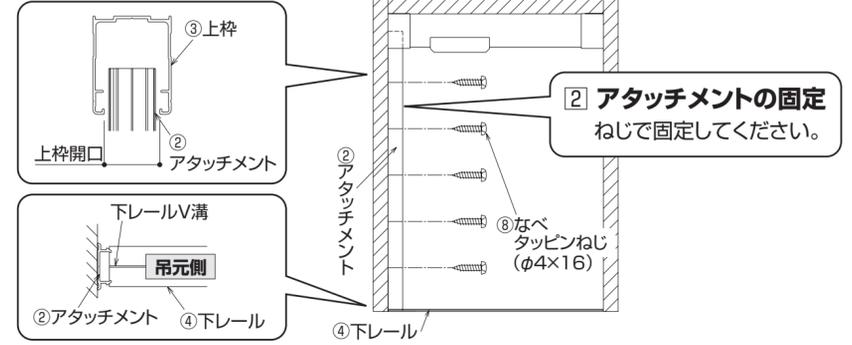
左右額縁の内面からB寸法の位置に印を付けてください。下レールの両面テープのハクリ紙をはがし、下レール中央V溝にあわせて左右のチリを均等にし、しっかり貼付けてください。



3. アタッチメントの取付

① アタッチメントの仮固定

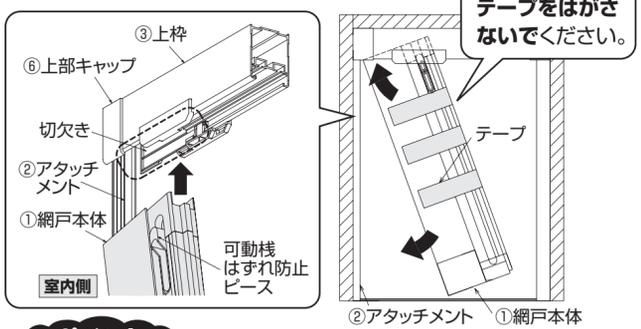
網戸本体にセットされているアタッチメントを取外してください。アタッチメントの両面テープのハクリ紙をはがし、アタッチメントの中央(V溝)を下レールの中心(V溝)と上枠開口の中心にあわせて木額縁に貼付け仮固定してください。



4. 網戸本体の取付

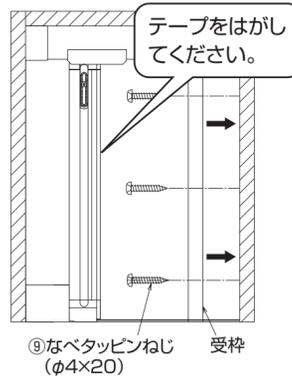
① 網戸本体の吊込み

網戸本体を斜めにして、可動棧はずれ防止ピースが室内側になるようにし、上枠端部切欠きから挿入してください。網戸本体をアタッチメントにはめ込んでください。



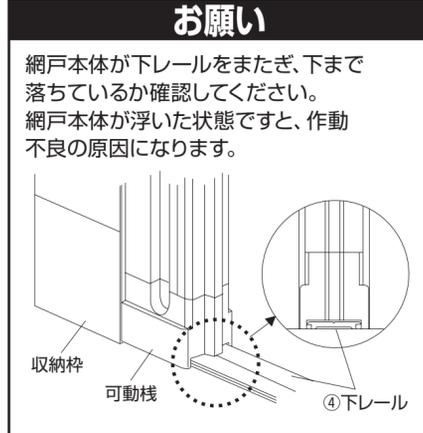
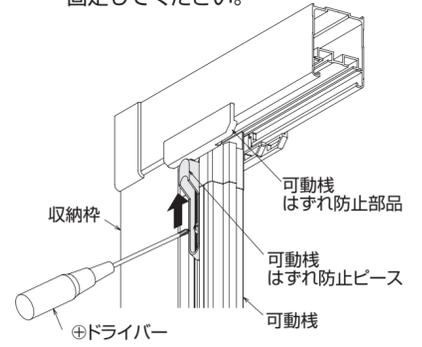
② 受枠をねじで固定

受枠を本体から離し、木額縁に押付け、ねじで固定してください。



③ 可動棧はずれ防止のセット

可動棧を収納枠に引寄せ、可動棧はずれ防止部品に可動棧はずれ防止ピースを突きあててしっかりと固定してください。

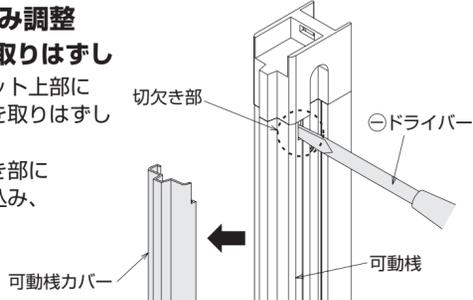


5. ワイヤーの調整

1. ワイヤーのたるみ調整

① 可動棧カバーの取りはずし

可動棧よりマグネット上部にある可動棧カバーを取りはずしてください。可動棧上部の切欠き部に⊖ドライバーを差し込み、はずしてください。



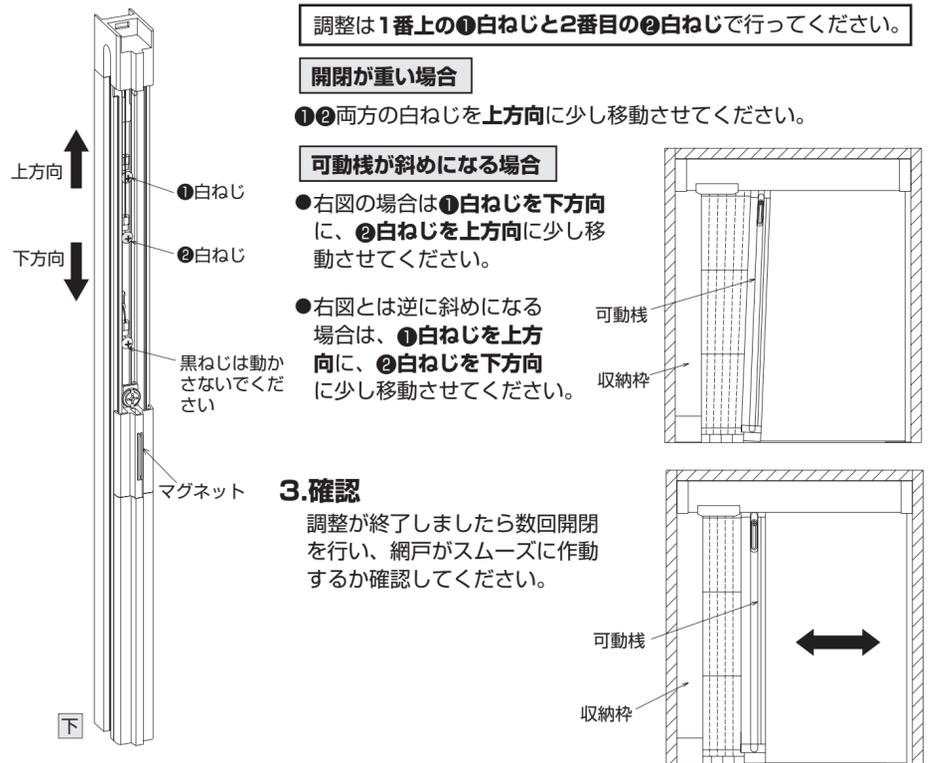
② ワイヤーのたるみ調整

網戸W方向の切詰めを行うとワイヤーにたるみができます。1番上の①白ねじと2番目の②白ねじをワイヤーのたるみがなくなるまで下方向に移動させてください。



2. 建付調整

開閉が重い場合や可動棧が斜めになる場合は、ワイヤーの調整を行ってください。

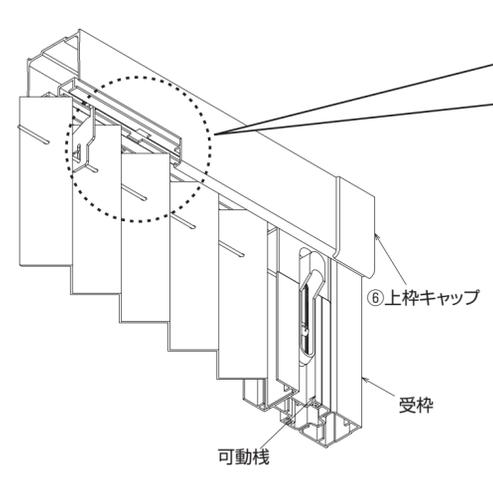


③ 可動棧カバーの取付

ねじを締めて可動棧カバーを取付けてください。

6. 上部フックの取付

① 可動棧を受枠まで引出してください。



② 上部フックをインナー枠室内側の加工穴から挿入し、ワイヤーに引っかけてください。

